

## 平成22年度研究科横断型教育プログラム（Aタイプ）授業科目

担当研究科名				文学研究科		授業の場所		文学部新館第7講義室	
授業科目名 title				社会学特殊講義（Global COE） 親密圏と公共圏の再編成		講義担当者 所属・氏名		文学研究科 落合 恵美子 他 13名	
配当 学年	修士 博士後期 （学部）	単位 数	4単位	開講 期	通年	曜時限	木2限 （10:30-12:00）	授業形態	講義
〔授業の概要・目的〕Course Description									
<p>学内の14名の教員によるリレー講義。現代世界の直面する課題である「親密圏と公共圏の再編成」に関する理論的実証的な検討を、それぞれの担当教員が最新の研究成果をもとに行う。</p> <p>「親密圏と公共圏の再編成」とはグローバルCOEのテーマであり、グローバル化と家族の変容というマクロとミクロの変化が同時進行する現代社会の再編成（「第2の近代」と呼ばれる）を理解し分析するための理論枠組を、社会科学および人文学のさまざまな分野の方法と知見を集めた学際的アプローチによって構築するという、新しい学問領域の創造を実践するものである。理系の大学院生にとっても、現代の科学技術がどのような社会の中に生み出されるのかを知ることは倫理的にも実践的にも必要であり、知的な関心も広げることもつながるだろう。</p>									
〔授業計画と内容〕Course Schedule									
<p>【前期】(落合)イントロダクション、(水谷雅彦)公共圏の構造転換、公共圏の現在とコミュニケーション、(中村俊春)西洋美術史研究における親密圏の問題、(今田絵里香)学校と雑誌文化の親密圏、(青山薫)移住・性労働・人身取引、日本の中のセックスワーク、(安里和晃)人口構成の変化と人の国際移動、(太郎丸博)賃金格差の日韓台比較</p> <p>【後期】(富永茂樹)親密圏と公共圏の弁証法、(森本一彦)家族の過去と現在、(田中紀行)モダニティの多様性と統一性、(赤枝香奈子)女同士の親密な関係とロマンティック・ラブ、(田窪行則)消滅の危機に瀕した言語の記録と活性化、(竹沢泰子)アジアにおける人種表象をめぐる公共圏と親密圏、偏見・差別のかたち、(伊藤公雄)まとめ</p>									
〔履修要件〕Requirements									
特になし									
〔成績評価の方法・基準〕Grading									
レポートによる									
〔教科書〕Textbooks									
特になし									
〔参考書等〕References									
授業中に指示する									
〔その他(授業外学習の指示・オフィスアワー等)〕									
特になし									